＜先週の説教から＞

『ルカ㊵ ― 新しいぶどう酒は新しい革袋に』

武田真治牧師

詩編 56：9～14　ルカ福音書　5：33～39

今日の聖書の箇所の題は「断食に関する問題」とありますが、なぜこの問題が持ち上がってきたのかと申しますと、直前のイエス様の言葉との関連があると言い得ます。32節でイエス様は「わたしが来たのは、罪人を招いて悔い改めされるためである」と言われていました。その際、当時は、特にユダヤ教に於いて、この断食が悔い改めと深いつながりがあったからです。断食とは文字通り（食事を断つ）という意味ですが、何ために食事をしないのかと言えば、本来は”祈る”ためなのです。食事も忘れる程に熱心に祈ることを指すのです。そこから“断食をしている人＝信仰深い熱心な人”というイメージが出来上がっていたのでした。しかも、その際の“祈り”は何より《悔い改めの祈り》なのでした。

それは、十戒や律法を一つ一つ考えながら自分は違反していないだろうか、そして、実行していない、違反していると感じれば、神様に《悔い改め》の言葉を祈り、罪の赦しをひたすら請い願い、祈るのでした。

故にここでイエス様たちへの批判として、「ヨハネ（＝洗礼者ヨハネ、彼こそヨルダン川で悔い改めの洗礼を人々に奨めた）の弟子たちは度々断食し、祈りをし、ファリサイ派の弟子たち（ユダヤ教の熱心な宗派、週に月曜日と木曜日の二度も断食をしていた）も同じようにしています」と当時のユダヤ教の信仰深さ、特に”悔い改め”への熱意を述べています。それに比べて「あなたの弟子たちは飲んだり食べたりしています」と。その姿は、イエス様が言われた「罪人を招いて悔い改めさ」せた人の姿とはとても思えないと。特に直前に、弟子になった徴税人のレビが、イエス様と弟子たちを招いて祝宴を催していましたからでした。

イエス様はこのような批判の言葉に対して「花婿が一緒にいるのに、婚礼の客に断食をさせることがあなたにできようか。しかし、花婿が奪い取られる時が来る。その時には、彼らは断食することになる」と答えられたのでした。もともと《悔い改め》を表すギリシア語のメタノイアという言葉は“心を変換する”という意味で、単に後悔することだけでなく、新しく生き始めることも含みます。まさに直前のレビさんは新しい人生を踏み出した“喜び”に満ちていました。もはや新しく歩み出した彼を共に喜び、共にお祝することがこの時、大切であろうと言われたのでした。いつも苦行をし、にがい顔をしていることが信仰深いのではないのだと。

ただ、その一方で忘れてはいけない点は、更に逆にその喜びを「取り去られる」ような時もあるとイエス様は言われていることです。「その時には、彼らは（私たちも）断食（＝必死になって神様に祈り求めること）をする」と。イエス様の存在を遠くに感じてしまう時もあるだろうと。その時はもう“必死に祈るしかない”と。断食をすることで救われるのではなく、祈り求めることでしか救われないのだと。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会　Ⅰ．3月26日（水）20：00
　　Ⅱ．3月27日（木）10：30
聖書研究：　ローマの信徒への手紙
祈祷主題：　聖歌隊奉仕を覚えて
担当者：　（水）相浦　　（木）小岩
祈りに覚える人：　高橋さん　高橋さん
＊ひつじ雲の会　　3月25日（火）13：30～

【教勢報告】

主日礼拝　　男17　女44　計61
祈祷会　Ⅰ.男4　女0　計4　Ⅱ.休会
日曜学校　　幼稚科6　小中科2　計8

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【次週礼拝】　3月　30日（日）
聖　書：詩　編　50：1～23
　　ヘブライ人への手紙　13：9～16
説　教：「詩編㊿―讃美のいけにえを献げよう！」
　　武田　真治　牧　師
讃美歌：303（1）、32、285(聖歌隊)、531、
　　390、27(1)

【次週当番表】
司式:羽倉長老　奏楽:中村　礼拝:坂田長老
献金：上松　大竹　受付：大野　北條
会堂準備：伊藤　伊藤　岩井　岩井
看板：岩佐　　週報：高橋　　お花

【次週集会予定】
礼拝前：・聖書輪読会　・求道者会
礼拝後：・お茶の会　　・牧師と語る会

66-12

週報

2024年度　教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

２０２５年　　３月　２３日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**

牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/